

第85期(中間期)

株主通信

2020年4月1日～2020年9月30日



自然と健康を科学する

株主の皆様へ P1

事業概況 P2

特集: ツムラのESG経営 P5

TOPICS P7

連結財務諸表 P9

会社の概要/株式の状況 P10

長期経営ビジョン

～2021年ビジョン～

“KAMPO”で人々の健康に寄与する
価値創造企業を目指して

“漢方”のツムラ

“人”のツムラ

“グローバル・ニッチ”のTSUMURA



証券コード: 4540

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第85期(中間期)の株主通信をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

当社グループでは、基本理念のもと「長期経営ビジョン(2021ビジョン)」の実現に向け、2019年度から「漢方」のイノベーションによる新たな価値の創造- Next Stage -」をテーマとする第3期中期経営計画の達成を目指し、5つの戦略課題に取り組んでおります。国内においては、社会課題である高齢者関連領域・がん領域(支持療法)・女性関連領域を中心に貢献すべく漢方市場を持続的に拡大し、中国においては、将来を見据えた生薬の安定調達体制を確立すべく事業投資を行うとともに、「中薬事業で中国の人々の健康に貢献する」というビジョン実現に向けた事業基盤構築のための積極的な投資を検討・実施しております。

当社グループは、循環型かつ持続可能な社会の実現に向けて、漢方製剤の原料である生薬はもとより、水、空気に至るまですべてを自然に戻す循環を考え、自然環境と共存し続ける独自の事業モデルの構築に取り組んでおります。自然の恵みを最大限に活かし、人々の健康と医療に貢献し続け、自然環境に最も敏感な企業でありたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 CEO 加藤 照和

長期経営ビジョン：「KAMPO」で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指して

“漢方”のツムラ	国内のどの医療機関・診療科においても、患者様が必要に応じて“漢方”を取り入れた治療を受けられる医療現場の実現に貢献
“人”のツムラ	世界に手本のない“漢方”ビジネスにおいて、自らが新しい道を開拓でき、誰からも信頼される“人”の企業集団へ
“グローバル・ニッチ”のTSUMURA	ツムラグループの持つ技術・ノウハウを最大限活用し、米国におけるTU-100(大建中湯)の開発・上市、中国における新規ビジネスへの挑戦



経営方針

当社グループは、追い求めていくべき不変の基本的価値観である「自然と健康を科学する」という経営理念と、社会から必要とされ存在し続ける目的である「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献します」という企業使命を基本的な理念と位置づけ、理念に基づく経営を実践すべく、諸施策に取り組んでいます。

業績の概要

●連結業績

当第2四半期連結累計期間の医療用医薬品市場は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況となりました。このような状況下、当社グループの医療用漢方製剤の販売状況は、医療機関からの訪問活動の制限を受けながらも、一般診療所においては外来患者数が徐々に回復し、訪問活動も再開してきていること等から回復傾向となりました。

これにより、当第2四半期連結累計期間の国内事業の売上高は、前年同期に比べ1.7%増加し、加えて中国子会社の新規連結に伴い、5.2%増の63,994百万円となりました。利益につきましては、営業利益11,124百万円(前年同期比13.8%増)、経常利益11,114百万円(前年同期比12.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益8,083百万円(前年同期比14.9%増)となりました。売上原価率は、薬価改定による上昇分を生薬関連コストで吸収するも、子会社の外部販売において原価率の高い一部製品の販売増加により、前年同期に比べ0.7ポイント上昇しました。また、販管費率は、活動自粛の影響等により、1.9ポイント低下し、これらの結果として、営業利益率は前年同期に比べ1.3ポイント上昇し、17.4%となりました。

売上高(億円)



営業利益(億円)



親会社株主に帰属する四半期純利益(億円)



医療用漢方製剤の概況

医療用漢方製剤の営業施策としては、「高齢者関連領域」「がん領域(支持療法)」「女性関連領域」を重点3領域として活動を集中させてきました。従来からの育薬処方*1と、それに続く戦略処方であるGrowing処方*2を中心に、重点領域において多くの患者様の健康に貢献できるよう、医療関係者の多様なニーズに対応し、基礎・臨床エビデンス、漢方掲載の診療ガイドライン、漢方医学的な処方の使い分け等に関する適切な情報提供活動を実施しています。

■ 医療用漢方製剤 売上高上位10処方

(単位:百万円)

順位	処方番号	処方名	前第2四半期 (2019年度)	当第2四半期 (2020年度)	増減額	前年同期比
1	100	ダイケンチュウトウ 大建中湯	5,262	5,237	△ 25	△ 0.5%
2	41	ホチュウエックトウ 補中益気湯	3,670	3,979	308	8.4%
3	54	ヨクカンサン 抑肝散	3,953	3,978	25	0.6%
4	43	リツワンシトウ 六君子湯	3,719	3,774	55	1.5%
5	68	シャクヤクカンゾウトウ 芍薬甘草湯	2,724	2,595	△ 129	△ 4.8%
6	17	ゴレイサン 五苓散	2,318	2,527	208	9.0%
7	24	カミショウヨウサン 加味逍遙散	2,348	2,415	67	2.9%
8	107	ゴシャツンキガン 牛車腎気丸	1,831	1,808	△ 22	△ 1.3%
9	114	サイレイトウ 柴苓湯	1,818	1,781	△ 37	△ 2.1%
10	29	バクモンドウトウ 麦門冬湯	2,210	1,648	△ 562	△ 25.4%
育薬処方合計			15,484	15,509	25	0.2%
Growing処方合計			13,273	13,165	△ 107	△ 0.8%
医療用漢方製剤129処方合計			58,141	58,779	638	1.1%

*1 育薬処方: 大建中湯・抑肝散・六君子湯・牛車腎気丸・半夏瀉心湯
近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス(科学的根拠)を確立する処方

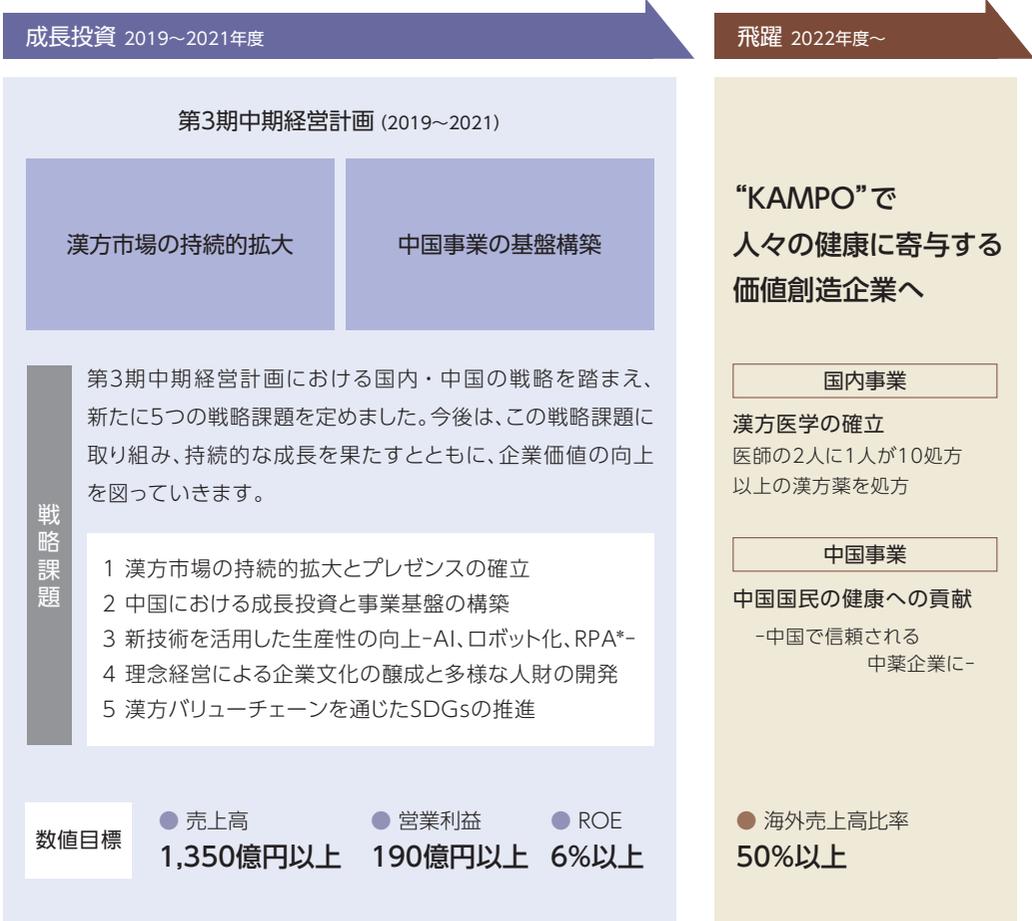
*2 Growing処方: 補中益気湯・芍薬甘草湯・麦門冬湯・加味逍遙散・五苓散
育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築(安全性・有効性データ等)により診療ガイドライン掲載を目指す成長ドライバー

第3期中期経営計画の概要

長期経営ビジョン達成のため、国内事業では「漢方医学の確立」に取り組み、中国事業においては、刻み生薬(飲片)をはじめとした、様々な製品の開発・提供による、「中国国民の健康への貢献」を実現していきます。

長期的な将来を見据え、“漢方”のイノベーションによる新たな価値の創造に取り組み、人々の健康に寄与すると同時に、長期利益の最大化を実現すべく、第3期中期経営計画に取り組みます。

■ 長期経営ビジョン実現へのロードマップ



*RPA : Robotic Process Automationの略

特集: ツムラのESG経営

ESG経営とサステナビリティ・ビジョン

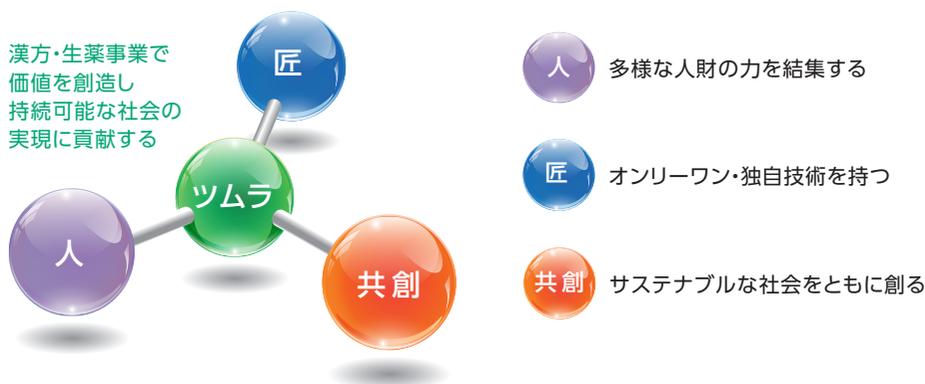
当社グループは「本業である漢方・生薬事業で価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献する」というESG経営を継続しております。

オンリーワンで独自技術を持つ会社、多様な人財を結集する会社、サステナブルな社会をともに創る会社を目指しております。

ガバナンスについては、実効性の高いガバナンス体制をより進化させてまいります。

環境と社会への取り組み、SDGs開発目標達成へ向けた取り組みを、「匠・人・共創」の3つの視点で説明いたします。

ESG経営とサステナビリティ・ビジョン



“漢方・生薬事業”で価値創造、医療・社会に貢献

「社会公益の一端となる意義ある事業」を行う創業者の信念を受け継ぎ、理念に基づく経営を行っております。2代目社長・津村重舎の「漢方は非科学的ではなく、未科学的である」という価値観が、現在の当社グループの経営理念である「自然と健康を科学する」に反映されております。

漢方薬は、合成薬にない価値を創造し、提供できる可能性を秘めております。

独自の栽培研究技術で自然環境保護・循環型社会を実現

当社グループは、事業から排出される廃棄物の量を極力減らすとともに、自然保護、環境保全、資源循環の取り組みを、長年にわたって行っております。

平安津村生薬プラットフォームの機能を活用し、自然環境の保護の観点から林地栽培を畑地栽培へと転換し、栽培技術確立と面積拡大、野生生薬・栽培化研究の品目の拡大を目指します。さらに生薬資源循環を加速させ、先導的な役割を果たしてまいります。

平安津村生薬プラットフォームによる栽培地の拡大



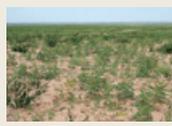



例) 森林と水の保全(自然保護)




林地栽培 畑地栽培

例) 野生生薬の栽培化(環境保全・循環型社会)




野生生薬 栽培生薬

生薬契約栽培が栽培地域の豊かな生活に貢献しサステナブルな社会を共創

生薬契約栽培が栽培地域の豊かな生活に貢献し、サステナブルな社会を共創するモデルです。中国の山間地「団結村」で大黄の栽培化に成功し、長期栽培契約による地域経済への貢献、安定的な雇用創出が実現したモデルです。住宅は整備され、安全な水とトイレが確保され、就業が困難な少数民族の農業収入が安定した事例です。

平安津村生薬プラットフォームによる生薬栽培






例) 大黄栽培の成功事例(地域経済への貢献・雇用創出)



- 山間地
- 住宅
- 上下水道が不整備
- 農家の低収入
- 少数民族の就業難



- 地域経済への貢献
- 住宅の整備
- 安全な水とトイレ
- 農家の収入安定
- 雇用創出

障がい者の皆様による高品質な生薬栽培・加工・研究

2010年より業務委託栽培契約をしている北海道・石狩市の「てみるファーム」の知的・精神・発達障がい者の皆様が、蘇葉(そよう)の栽培や茯苓(ぶくりょう)の菌床栽培研究などに取り組んでおります。

タ張ツムラ「社会福祉法人はるにれの里」との共創






例) 北海道石狩市「てみるファーム」における生薬栽培



- 高品質な蘇葉の栽培
- トップレベルの加工技術
- 技能習得レベルアップ
- 生薬栽培への継続就業

蘇葉の栽培



- 室内での茯苓栽培研究
- 菌床栽培技術の応用
- 栽培技術の基礎確立
- 実用化に向けた研究

茯苓栽培研究

漢方や医療、健康に関するさまざまな情報を提供

一般の方に向けたフォーラム・イベントへの協賛

当社は、漢方の普及啓発活動のひとつとして、一般の方に向けた医療や健康に関するフォーラムやイベントに協賛し、漢方や医療、健康に関するさまざまな情報を提供しております。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、9月からの開催となりました。開催形態も感染症拡大防止に配慮し、インターネットでのライブ配信による開催が中心となりました。すでに開催したイベント、今後開催予定のイベントは下表の通りです。



フォーラムがんと生きる

日程	開催地	主催
9月5日(土)	東京	NHK厚生文化事業団
10月17日(土)	長野	NHKエンタープライズ
1月17日(日)	横浜	読売新聞社



写真左から 秋山 正子 氏(認定NPO法人マギーズ東京 共同代表理事)
山口 建 氏(静岡県立静岡がんセンター 総長)
町永 俊雄 氏(福祉ジャーナリスト)



健康応援フェスタ

日程	開催地	主催
10月29日(木)	福岡	NHKエデュケーショナル
11月15日(日)	東京	
12月9日(水)	大阪	



超高齢社会を生きる

日程	開催地	主催
11月7日(土)	金沢	NHK厚生文化事業団
3月14日(日)	東京	NHKエンタープライズ

「Hello! TSUMURA バーチャル漢方記念館」

“漢方・生薬を学ぶ・知る・楽しむ”をコンセプトにしたスペシャルサイト「Hello! TSUMURA バーチャル漢方記念館」を公開いたしました。

茨城県にある**ツムラ漢方記念館**は、2008年のリニューアルオープン以来、主に医療関係者向けに公開してまいりました。このたび、一般の皆様もツムラ漢方記念館を疑似体験できるコンテンツとして、ツムラ漢方記念館で発信する情報とその空間を、スペシャルサイトで初めて公開いたしました。

ミニチュアにしたツムラ漢方記念館を舞台に、ツムラや漢方の歴史、漢方製剤ができるまでの工程など、さまざまな情報を動画やアニメーションも活用しながら紹介しております。



■ ツムラ漢方記念館

創業115周年メモリアル事業として2008年にリニューアルオープンし、その年のグッドデザイン賞(分類: 公共施設・建物)を受賞。当社茨城工場敷地内にある医療関係者向けの見学施設です。漢方・生薬に関する歴史的に貴重な書物等から100種類を超える原料生薬の展示、漢方製剤の製造工程や品質管理までを専門スタッフが案内しております。

※現在はCOVID-19 感染症拡大に伴い見学を中止しております。見学の再開は未定です。

※医薬品製造工場敷地内に立地するため、見学再開後も、主に医療関係者の皆様への限定公開となります。

Hello! TSUMURA バーチャル漢方記念館



<https://www.tsumura.co.jp/hellotsumura/>

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2020年3月31日現在)	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)	増減
資産の部			
流動資産	194,288	195,073	784
固定資産	116,753	113,341	△ 3,411
有形固定資産	77,207	82,481	5,273
無形固定資産	13,341	12,757	△ 583
投資その他の資産	26,204	18,103	△ 8,101
資産合計	311,042	308,415	△ 2,626
負債の部			
流動負債	48,476	44,495	△ 3,981
固定負債	49,516	39,995	△ 9,521
負債合計	97,993	84,490	△ 13,502
純資産の部			
株主資本	202,116	207,468	5,351
その他の包括利益累計額	3,260	2,201	△ 1,059
非支配株主持分	7,671	14,254	6,582
純資産合計	213,048	223,924	10,875
負債純資産合計	311,042	308,415	△ 2,626

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2019年4月 1 日 至 2019年9月30日)	当第2四半期 (自 2020年4月 1 日 至 2020年9月30日)	増減
売上高	60,802	63,994	3,191
売上原価	24,893	26,596	1,703
売上総利益	35,908	37,397	1,488
販売費及び一般管理費	26,132	26,272	140
営業利益	9,776	11,124	1,348
営業外収益	552	660	107
営業外費用	472	671	198
経常利益	9,856	11,114	1,257
特別利益	2	4	2
特別損失	21	13	△ 7
税金等調整前四半期純利益	9,837	11,105	1,267
法人税等	2,729	3,198	468
非支配株主に帰属する 四半期純利益	70	△ 176	△ 246
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,037	8,083	1,045

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2019年4月 1 日 至 2019年9月30日)	当第2四半期 (自 2020年4月 1 日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,696	10,654
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,739	△ 2,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,529	△ 7,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 349	△ 712
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,556	195
現金及び現金同等物の期首残高	56,243	57,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,800	61,407

会社の概要 / 株式の状況 (2020年9月30日現在)

会社概要

本社	東京都港区赤坂二丁目17番11号
創業	1893年(明治26年)4月10日
設立	1936年(昭和11年)4月25日
資本金	301.42億円
従業員数	(単体)2,563名(就業人員数) (連結)3,858名(就業人員数)

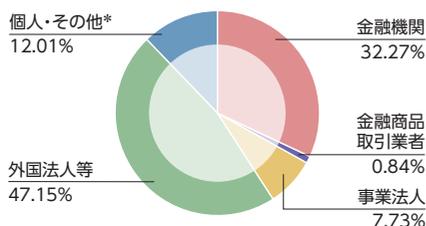
連結子会社

会社名	主要な事業内容
株式会社ジテムツムラ	製品の運送および保管
株式会社夕張ツムラ	原料生薬の栽培・調達・選別加工および保管、資金援助
津村(中国)有限公司	当社グループの中国における地域統括
深圳津村薬業有限公司	原料生薬の調達・選別加工および保管、資金援助
上海津村製薬有限公司	漢方エキス粉末の製造および販売、資金援助
平安津村有限公司	事業統括
平村(深圳)医薬有限公司	医薬品・食品販売
平安津村薬業有限公司	事業統括
盛美百草薬業有限公司	原料生薬の調達・選別加工および保管
白山林村中薬開発有限公司	原料生薬の栽培・調達・選別加工および保管
TSUMURA USA, INC.	米国における医薬品開発
その他3社	

株式の状況

● 発行可能株式総数	250,000,000株
● 発行済株式の総数	76,758,362株 (自己株式 250,139株を含む)
● 株主数	13,032名

〈所有者別株式数分布状況〉



*「個人・その他」には、自己株式250,139株を含めています

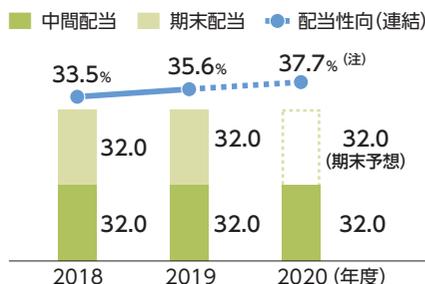
● 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
BANK OF CHINA (HONG KONG) LIMITED -PING AN LIFE INSURANCE COMPANY OF CHINA, LIMITED	7,675	10.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,559	8.57
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,399	4.44
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	3,156	4.13
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	2,780	3.63
株式会社三菱UFJ銀行	2,197	2.87
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	1,929	2.52
ツムラグループ従業員持株会	1,816	2.37
BRIGHT RIDE LIMITED	1,692	2.21
JP MORGAN CHASE BANK 380634	1,440	1.88

(注)持株比率は自己株式250,139株を控除して計算しています

配当金

配当金の推移(円)



(注)2020年度期末配当金・配当性向(予想)は、第85回定時株主総会による配当議案決議が前提の予想数値を記載

当社では、株主還元につきましては、以下の方針としています

- “漢方”事業の持続的な拡大と中国事業の成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する

ツムラIRウェブサイトのご案内

▼トップページ



▶「株主・投資家の皆さま」

最新のIR情報を掲載しています。

メール配信サービス

最新のIR情報をメールでお届けします。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝祭日等を除く) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.tsumura.co.jp/ir/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主優待制度

【保有年数継続3年以上】

◎入浴剤バスハーブ

- ・100株以上
小(210ml)×1本
- ・1,000株以上
大(650ml)×1本

◎ツムラ漢方記念館見学会ご招待(年数回)

- ・100株以上

ご応募の株主様から抽選で各40名様ご招待(2021年度の開催は、新型コロナウイルス感染予防の運営上、定員を20名で開催予定、感染状況により中止の可能性もございます)

詳細は2次元コードからアクセスしてください。



ウェブサイトのご案内

<https://www.tsumura.co.jp/>



コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループ
〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号
TEL 03-6361-7101

